

# なかの 市議会だより

7 月号

2021年(令和3年)  
7月20日発行  
No.65

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会  
●ホームページ <https://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)



## 2021信州なかのバラまつり

5/29~6/13



● 市政一般質問	陳情	人事案	事件案	予算案	条例案	● 議案等件数及び議決内容	会期	閉会	開会
27件	1件	1件	4件	1件	2件		18日間	6月21日	6月4日
	不採択	選挙	可決	修正可決	承認				
				承認	承認				

6月定例会



### 令和3年4月凍霜害について

中村 秀人

**質問** 長野県内、近隣の被害状況と、過去の凍霜害との違いは見られるのか。

**答弁** 県全体の被害額は19億9千599万円余、うち本市を含む北信管内は2億6千998万円余と発表されており、例年に比べ、農作物の生育が進んでいたことに加え、

安全限界温度を下回る低温時間が長かったため、被害が拡大したと考えている。

**質問** 農業団体の支援要請を受け、営農継続および今後の発生予防や被害軽減のための技術確立に対する市としてできる支援は。

今後、県を始め関係機関等と支援策を検討していく。  
**質問** 凍霜害発生に素早く対応するため、市内全域の詳細な気象予測データ取得可能な体制を整備しては。

**答弁** 施設の整備・運営にコストがかかるため考えていない。

### 移住推進について

**質問** 移住推進の成果は。

**答弁** 移住相談者数について、令和元年度が159人、昨年度はオンライン移住セミ

ナーの実施等により175人であった。また、住民異動届の転入理由の分析では、本年3月までの11カ月間で151人が移住されている。  
**質問** 移住希望者への特典や住宅取得、賃貸への補助はあるのか。

**答弁** 民間企業や個人事業主対象のオーダーメイド現地視察ツアーでの交通費の補助や新規就農する移住者への定住支援事業がある。

**質問** 市と関わりのある方へアップローチを強化しては。

く効果的な訴求が期待できる。SNSなどを活用した情報発信に努めていく。



### 学校教育について

芦澤 孝幸

**質問** 奨学金制度申請者の状況と利用者数はどうか。

**答弁** 平成30年度は申請者5人に対し、貸与決定者4人、令和元年は申請者、貸与決定者ともに4人、昨年度はともに8人、今年度は現時点でともに4人であり、今後、追加募集を行う予定

である。

**質問** 申請の際、なぜ健康診断書の提出が必要なのか。

**答弁** 「奨学金金の設置、管理及び処分に関する条例施行規則」に基づき、「健康であること」が要件になっていることから提出を求めている。しかし、提出を

必要としない市もあることから、必要性について検討していく。

**質問** 給付型の検討は進められているか。

**答弁** 企業等と連携し、本市へUターン就職することとを要件として給付するという制度も含め、他市の状況を注視しながら研究していく。

### 地域活性化について

**質問** 店舗改修等支援事業補助の利用状況はどうか。

**答弁** 平成17年度から昨年度までの空き店舗、既存店舗改修補助の交付件数は26件、家賃補助の交付件数は31件である。

**質問** 店舗改修等支援後の廃業店舗数およびその要因と対応は。

**答弁** 支援後の廃業店舗数は12店舗である。要因としては、経営努力をしたものの、顧客不足など経営不振によるものであったと考えられる。信州中野商工会議所の経営指導員により、継続的な相談を受けられるよ

う連携を図っている。





### 旧第2通学区高校再編 について

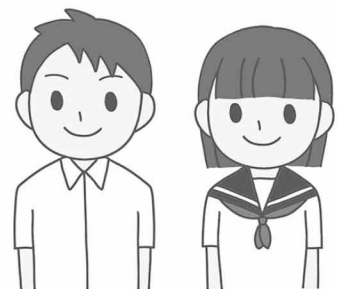
小林 忠一

**質問** 県教育委員会が示す総合学科に大学進学願望等に応えるため、普通科併設がよいと考えるがどうか。

**答弁** 本市には、総合学科の普通コースとして、大学進学を目指す生徒が通える学校の設置を考えていると

のことであり、普通科併設の高校ではないが、やむを得ないものと考えている。  
**質問** 中学校の進路指導で総合学科の内容をどのように指導しているのか。  
**答弁** 普通科目、専門的な科目を選択できる高校と説明し、高校の先生等から特徴や様子を聞く機会を設けるなど、授業内容やカリキ

ュラムの理解を深めている。  
**質問** 高校も35人学級とすれば、少子化に対する高校体制が構築できるがどうか。  
**答弁** 県教育委員会の動向を注視していく。



### SDGs(持続可能な開発 目標)について

中村 明文

**質問** SDGsについての市長の基本的な考えは。

**答弁** SDGsの17の多様な目標の追及は、地域の様々な課題の解決に大きく貢献するものと認識している。

**質問** SDGsを市の政策に反映するために担当部署の創設が必要だと思いがどうか。

**答弁** 横断的に全庁で取り組んでいくことから、新たな担当部署の創設は考えていない。なお、第2次総合

計画後期基本計画をはじめ、今後予定している都市計画マスタープラン等の計画策定に当たり、SDGsの理念を反映させていきたい。

### パートナーシップ制度について

**質問** パートナーシップ制度の導入の検討を始めるべきだと思いがどうか。

**答弁** 制度導入については、問い合わせや具体的な相談

がないため、現時点では導入は考えていない。しかしながら、社会・生活様式が多様化しているなどを考慮し、他の自治体等の動きも注視しながら研究していきたい。

### 高齢者や障がいのある方を対象とした資源物等の回収サービスについて

**質問** 資源物等排出支援事業の利用促進について、どのように市民へ周知しているのか。

**答弁** 資源物については月1回、有害ごみおよび不燃性粗大ごみについては年2回、戸別回収している。本事業は、4月に全戸配布し

た「ごみと資源物の分け方・出し方」の冊子への掲載等により、利用促進を行っている。引き続き関係機関と連携し、周知を強化していく。

### 令和2年度一般会計の決算見通しについて

**質問** 令和2年度一般会計および地方交付税の歳入見通しはどうか。

**答弁** 令和2年度の一般会計歳入見通しについては、新型コロナウイルス感染症への対応などで厳しい財政状況であったが、財源確保に努め歳入予算の総額は確保できる見通しである。令和2年度における地方交付

税収入は、普通交付税が49億2千846万円余。特別交付税が5億8千455万円余で、合計55億1千301万円余である。なおおむね予算どおりの収入である。

(注)

パートナーシップ制度 互いを人生のパートナーとし、相互に責任を持って協力し合うことを宣誓した二者の関係を、自治体が認める制度のこと。



### 市道法面の管理について

永沢 清生

質問 維持管理の実施状況は。

答弁 幹線道路を中心に草刈り等を行い、適切な維持管理に努めている。

質問 現状をどのように認識しているか。

答弁 維持管理が細部まで行き届いていない箇所があ

ることは、認識している。

質問 維持管理を地元区や関係する農業者等に委託してはどうか。

答弁 作業は危険が伴い、事故なども想定されることから、考えていない。

### 市道柳沢古牧線について

質問 市道柳沢古牧線の冠水対策に対する市の考えは。

答弁 現在、国、県および流域市町村が一体となって行う信濃川水系緊急治水対策プロジェクトが進められている。

市としては、千曲川の増水対策につながるよう、関係機関と連携を図り推進していきたいと考えている。また、県が行う古牧橋架け替え事業に伴う、市道柳沢古牧線の冠水対策を含めた

改良ができるか県と協議していく。

### 獣害対策について

質問 鹿の食害の現状を把握しているか。

答弁 農家や関係機関からの被害報告はない。

質問 侵入を防止するための考えは。

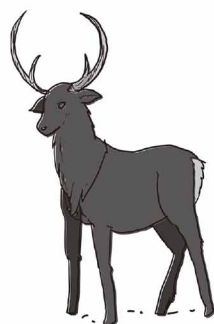
答弁 他市町村では、冬季も使用可能とされる防止柵を試験的に導入したところ、通年における害獣被害の防止効果が認められたことか

ら、費用対効果を検証中のことである。

市としては、その結果を参考に対応を研究していく。

質問 個体数削減に向けた考えは。

答弁 有効な手段について研究していく。



### 市内事業者への支援について

宇塚 千晶

質問 マルシェ開催事業補助の対象地域を拡大してはどうか。

答弁 まちなかの賑わいと交流を期待するものであり、現時点では考えていない。

質問 一本木公園や北信濃ふるさとの森文化公園等の都市公園、信州中野観光セ

ンターおよび道の駅ふるさと豊田における物品、飲食物等の販売の許可は可能か。

答弁 施設ごとの条例に基づき、当該行為の目的・内容や期間等が施設の利用に支障を及ぼさないと認められた場合に限り、許可している。

質問 利用者の安心安全の

### 観光振興について

ため、業種別感染拡大予防ガイドラインの遵守が必要ではないか。

答弁 申請受付の際は遵守を呼びかけていきたい。

質問 信州中野観光センターは立地条件が非常に良く、ビジネス領域の可能性が

あるとの意見が多い。施設の使用方法を見直し、市内の物産品をより多く扱うなど指定管理者と連携した施設の有効活用を図ってはどうか。

か。

答弁 収益事業は指定管理者の自主事業となるため、取り組みが可能かを含め指定管理者に提案したい。

質問 屋内施設と比較すると、屋外施設の多い北信濃ふるさとの森文化公園の利用者は多い。密を避けるアウトドアなどの需要が高まっているため、オートキャンプ場やレンタサイクルを充実させてはどうか。

答弁 利用者アンケート等を実施したうえで検討する。

質問 浜津ヶ池公園市民セ

ンター跡地を活用し、テイクアウトによる市内事業者の飲食物、物品の販売や受益者負担で雨の日でも楽しめるアクティビティの拠点としてはどうか。また、同公園の回遊性を高め、利用者増加が期待できると考えるがどうか。

答弁 現在は豚熱が発生した場合の作業員基地として使用する予定であるが、公共施設のあり方も含め、総合的に判断したいと考えている。

関係人口創出事業について

質問 市内宿泊業者や不動産賃貸業者、指定管理者と連携し、長期滞在プランをアピールするなど、官民連携しワーケーションの普及促進を図ってはどうか。目

的達成に加え、事業者への支援や長期滞在による経済効果も期待できるのではないか。

答弁 関係人口創出拠点施設での積極的な需要創出に努めたいと考えている。

(注) 中野市マルシェ開催

事業補助金

生産者および事業者同士の交流の場を創出し、市街地のにぎわいと地域の活性化を図るため、マルシェ(5以上の者が出店して開催する即売会)の開催に要

する経費に対して、予算の範囲内で交付する補助金のこと。

関係人口

移住した「定住人口」や観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々

と多様に関わる人々のこと。地方では、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面しており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されている。

新庁舎建設時の残土について



阿部 光則

質問 新庁舎建設時に出たヒ素を含む残土の出土から現在に至るまでの経過はどうか。

答弁 平成29年1月に新庁舎の施工業者が行った土壌調査の結果、庁舎敷地からヒ素が検出された。県と協議し必要な土壌調査を行い、県知事あてに形質変更時要届出区域の自然由来特例区域の指定申請を行い、令和元年8月に指定された。また、搬出された残土について、令和2年9月に実施した土壌汚染状況調査でも、

基準値を超えるヒ素が検出されている。

質問 ヒ素が検出された時点で、市議会や住民にきちんと報告すべきだったのではないか。

答弁 今となれば報告しておけば良かったと思う。

質問 処分方法等を事前に示されず、なぜ、いきなり多額の予算を示されたのか。

答弁 中野地区区長会から、早急に片付けてほしいと要望があり、雪が降る前に作業を終えるためには、6月市議会定例会で予算を認め

ていたが必要があった。

質問 住民にはどのような周知されたか。

答弁 市民には本年1月、公式ホームページで、関係する地区には文書で、これまでの経過、今後の対応等を説明した。

質問 処分方針・方法はどうか。

答弁 残土は、土壌汚染対策法で処理が義務づけられていない。県とも相談し、他の公共事業等への利活用も含めて様々検討したが、将来にわたる市民の安全を第一とし、同法に基づく汚染土壌処理施設への運搬処理とすることとした。

質問 処分費用が2億4千941万余円と、今までに示されたものから大幅な増額となったが、その積算根拠は、

答弁 土壌汚染対策法による土壌処理の許可を得ている複数の汚染土壌処理業者により現地確認および土壌のサンプル調査を行い、提出された参考見積書を基に、運搬処理の単価と残土の予定数量から算出した。

農業振興基金

質問 災害が大型化しているなど、いろいろな災害が心配されるが、果樹共済・収入保険は、その時の最も大きな支援となる。制度への加入促進にもなるため、更なる支援はどうか。

答弁 果樹共済・収入保険の掛け金および保険料へは、すでに一定程度支援しているため、考えていない。

その他の質問  
・第2次中野市総合計画(後期基本計画)について

(注) 形質変更時要届出区域

土壌汚染の人への摂取経路がなく、健康被害が生ずるおそれがないため、汚染の除去等の措置が不要な区域のこと。なお、汚染土壌の飛散等により、新たな環境リスクを発生させないため、この土地を適切に管理していくことが必要となるほか、掘削工事等を行う場合は、都道府県知事へ事前の届出が必要となる。



文化・芸術について

青木正道

質問 市民会館のリノベーションの建設スケジュールの進捗状況は。

答弁 6月9日に入札を行ったが不調となった。

質問 完成予定に変更はあるか。

答弁 予定どおり来年10月オープンを進めたい。

質問 計画の変更はあるか。

答弁 変更箇所はない。

質問 市民会館のリノベーションを記念し、市所有の

絵画、書などの芸術品を、写真、解説を添えてまとめた記念誌を発行しては。

答弁 本市ゆかりの音楽家・芸術家作品や業績をまとめ、偉業を継承するとともに、現在、文化芸術分野で活躍されている方の情報を、過去から現在、そして未来へつなぐためのデータベースを構築していくため、記念誌の発行は考えていない。



を得ながら進めていく。

その他の質問

・子育て支援について  
・市長の政治姿勢について

新型コロナウイルスの接種について

松樹純子



質問 65歳以上の高齢者のワクチン接種の状況は。

答弁 6月9日現在、市の集団接種では延べ3千787回、市が行う高齢者施設では延べ197回の接種を行った。当初の予想より接種希望者が

増えることが見込まれたことと、国の7月末までに高齢者接種を終了するようにとの要請により、接種日程、1日当たりの接種回数を増やすとともに、夜間接種を行うこととした。これにより接種枠に余裕ができた

ため、接種日が先に延びてしまっていた方に連絡し、接種日を早めていただくよう案内した。

質問 課題は。

答弁 電話が集中したこと

で一時的にコールセンターにつながらにくい状況が発生したが、受付時間を延長して対応した。また、会場内での2回目の接種予約が混雑したことがあったが、人員を増やしたり、会場の動線を変更するなどして改善した。その他、北信総合

病院で1回目の接種時に2

回目の予約ができるようにしてほしいという要望をいただいたが、会場の都合から困難である旨の回答が北

信総合病院からあったため、引き続きコールセンターでの

予約で対応していく。

質問 キャンセルの対応は。

答弁 希望される方の申し

出により、待機者名簿に登

載し、キャンセルが出た場合は連絡し、接種に来てい

ただいている。

質問 今後も、待機者名簿

に載せてもらうには、申し

出ればよいのか。

答弁 そのとおりである。

質問 64歳から16歳の接種

順位は。

答弁 基礎疾患を有する方

高齢者施設従事者を優先対

象とし、以降は年代階層別

順に実施していきたい。

質問 接種券の発送は。

答弁 7月上旬発送を予定

して準備作業を進めている。

質問 接種券の一括送付後、

年齢階層により予約開始時

期が違うことは、市民に周

知が必要だと思いがどうか。

答弁 従来のホームページ

掲載等に加えて、医師会のご協力を得て、案内を掲示

するなど周知に努めたい。

質問 予約受付の方法は。

答弁 方法は同様だが、64

歳以下の方からは、1回目

と2回目の接種予約を一括

で受け付けることとした。

質問 障がい者等配慮の必

要な方への接種の対応は。

答弁 障害福祉サービス提





新庁舎建設時の残土  
について

高木 尚史

質問 旧中野高校敷地に保管している土素が検出された残土の処理費用で財政調整基金を取り崩して、2億4千941万余円を計上した補正予算の積算根拠は。

答弁 複数の汚染土壌処理業者からの参考見積書で算出した。

質問 長野県内には許可業者はなく、処理方法は埋め立てやセメント製造方法など複数あるが検討したか。

答弁 市民の安全と、一日も早く撤去し将来に禍根を残さない方法を選択した。

質問 残土の運搬費用と処理費用の関連性はどうか。

答弁 予算には土壌搬出と処理費用が含まれている。

質問 関係住民への対応は。

答弁 地元区と説明会の開催に向け調整に入りたい。質問 予備費へ組み替えて、処理方法の再検討による経費減額と地元合意を得てから予算執行するのはどうか。

答弁 議会として決定されるのであれば、受け入れる。

部落解放都市宣言について

質問 平成27年実施の「同和地区住民生活実態調査」と「中高地区人権に係わる住民意識調査」の分析と見解はどうか。

答弁 部落に対するマイナスイメージが増加しており、部落差別がいまだにあると認識している。

質問 全国水平社創立100年を迎えても、差別がなくならない。部落解放都市宣言制定の時期はいつか。

答弁 「人権尊重都市宣言」の素案を庁内で検討しており、来年3月市議会定例会で審議していただき、令和4年4月1日付けで制定を行いたい。

一本木公園におけるサウンディング型市場調査について

質問 公園内の中野小学校旧校舎を改修し、カフェ・レストラン誘致の調査の目的と、公園の入場者の変動状況、旧校舎の文化的価値の認識はどうか。

答弁 バラまつり期間を含め入場者数は減少している。年間を通じ賑わい・憩いの場としての価値を高め、より魅力ある公園とするために調査する。旧校舎は市の有形文化財に指定している。

SDGsと気候非常事態宣言について

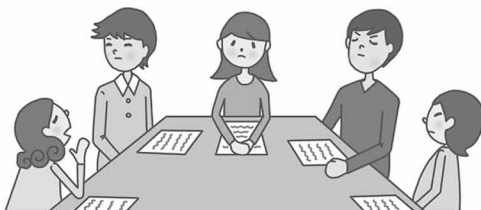
質問 長野県と12市町村が宣言を发出している。気候変動は本市農業に大きな影響を与えるため、独自の宣言を发出すべきだがどうか。

答弁 県との連携が必要であり、宣言の効果や发出の時期等、総合的に判断して検討していきたい。

その他の質問  
・消防団員の待遇改善について

(注)  
サウンディング型市場調査

事業発案時や実施に向けた検討段階において、民間事業者との意見交換等を通し、事業に対する様々なアイデアや意見を把握する調査のこと。この調査を行うことで、新たなアイデアの収集、事業の実現可能性および課題を把握することができる。



市議会を  
傍聴しませんか

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。ご希望の方は、ながの電子申請サービスまたは事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。

傍聴等に関するお問い合わせ先

電話 (22) 2111 (内線316) FAX (22) 5922  
Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



手話通訳申請  
ながの電子申請サービス

## 総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された議案7件について、6月16日に審査しました。

主なものとして、令和3年度中野市一般会計補正予算(第2号)について、3億2千381万2千円を追加し、

予算総額は230億329万3千円とするものであります。

総務費では、残土運搬処理業務委託料として新庁舎建設時に出土したヒ素を含む残土の処理に要する費用2億4千941万4千円の増額で

ありましたが、様々な議論がある中で、汚染土の処理方法はさらに検討を加える必要がある。また、市民、地域住民に様々な案を提示し説明して合意を得る必要があります。計上された委託料

を予備費に組み替え、合意ができた時点で予算執行することを求めた修正案が提出されました。審査の結果、修正案については賛成多数で可決、修正案を除く原案については教育費も含め全

会一致で可決されました。

そのほかの専決処分の報告3件、条例案2件、事件案1件については、原案どおり承認および可決されました。

## 民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された予算案2件について、6月16日に審査しました。

主なものとして、令和3年度中野市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の

報告について、民生費では、新型コロナウイルス感染症の緊急支援策として、子育て世帯生活支援特別給付金9千337万2千円の増額、衛生費では、交通手段がない

65歳以上の高齢者をワクチン接種会場まで送迎するための送迎業務委託料等2千233万1千円の増額などです。

令和3年度中野市一般会計補正予算(第2号)につ

いて、総務費では、公会堂建設事業補助金および公会堂等感染症予防対策給付金587万7千円の増額、民生費では、子育て世帯生活支援特別給付金システム改修等

業務委託料278万円の増額、衛生費では、新型コロナウイルスワクチン接種事業費千108万9千円の増額であり、原案どおり可決されました。

## 経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された条例案2件、予算案1件、事件案3件および陳情1件について、6月16日に審査しました。

主なものとして、中野市

関係人口創出拠点施設条例案は、関係人口の創出・拡大を通して地域社会の活性化に資するため、本条例案が制定されるものであり、原案どおり可決されました。

令和3年度中野市一般会計補正予算(第2号)では、農林水産業費では、バイオマス循環型社会推進事業費500万の増額、商工費では、市民祭中止に伴い観光イベ

ント事業費370万円の減額などであり、原案どおり可決されました。

そのほかの条例案1件、事件案3件については、原案どおり可決されました。

また、「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情については、採決の結果、不採択となりました。



## 6月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第1号	中野市市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承認	議案第8号	令和3年度中野市一般会計補正予算(第2号)	修正し可決
議案第2号	中野市都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承認	議案第9号	中野市立図書館空調設備等改修工事請負契約の締結について	可決
議案第3号	令和3年度中野市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について	承認	議案第10号	中野市豊田温泉公園もみじ荘改修工事請負契約の締結について	可決
議案第4号	中野市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例案	可決	議案第11号	財産(ロータリ除雪車)の取得について	可決
議案第5号	中野市市税条例の一部を改正する条例案	可決	議案第12号	市道路線の認定について	可決
議案第6号	中野市関係人口創出拠点施設条例案	可決	議第1号	中野市選挙管理委員及び補充員の選挙	選挙
議案第7号	中野市乗馬センター条例を廃止する条例案	可決	陳情第1号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	不採択

陳情者  
中高地区労働組合連合会  
議長 樋口 尚宏  
外1団体

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

### ■ 陳情



## 議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。  
インターネット録画中継は、パソコンのほかタブレットやスマートフォンで、いつでも本会議の様子を視聴することができます。  
是非、ご覧ください。

### 視聴方法

中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス  
中野市議会ホームページ  
<https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/>

### 配信している議会中継

平成30年5月市議会臨時会分～

### 配信時期

定例会・臨時会の本会議終了後、約1週間後に配信します。



表紙の写真

2年ぶりに開催

令和3年5月29日から6月13日までの16日間、「信州なかのバラまつり」が、一本木公園で開催されました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止、さらにはバラが満開の時期に公園閉鎖となつてしまいました。

今年は、コロナ禍であることから、園内イベントを行わないなど、例年とは違った形でありましたが、関係者のご尽力により、2年ぶりの開催となりました。



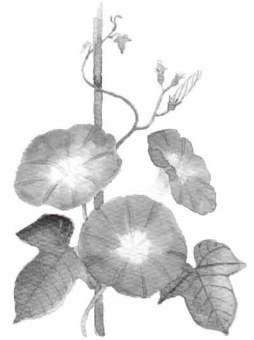
今年も850種3千株のバラが絢爛に咲き誇り、バラの香りに満たされた園内を楽しんでいただく方が来園されていきました。

来年は、以前のような盛大なイベントとなることを願っています。

(写真提供 中野市広報)



令和3年9月中野市議会定例会会期日程(予定)



○開会日

9月1日(水曜日)

○市政一般質問

9月8日(水曜日)  
9日(木曜日)  
10日(金曜日)

○委員会

9月13日(月曜日)  
14日(火曜日)  
15日(水曜日)  
16日(木曜日)  
17日(金曜日)

○閉会日

9月24日(金曜日)

○請願・陳情について

9月定例会における請願書および陳情書の受付は、8月20日(金曜日)の午後5時までです。

※他の行事等により日程が変更する場合があります。

第5代後期  
議会だより  
編集委員名簿  
(順不同)

委員長	青木 正道
副委員長	阿部 光則
委員	松樹 純子
〃	宮島 包義
〃	中村 明文
〃	宇塚 千晶
〃	保科 政次
〃	芦澤 孝幸
〃	永沢 清生
〃	高野 良之



あとがき

今年の春の気候は、暖かく推移し、リンゴなど果物の開花も早まりました。そして4月上旬から凍霜害が続きました。

リンゴは北信一帯で中心果が被害に遭い、果樹全体を観ても、着果もバラバラ、和梨に至っては、一個も付いていない樹もあり、高齢の農家の方も「今まで、こんなに悪い年はなかった」とおっしゃる状況です。

そして6月16日には降ひょうがありました。これから収穫期にかけ、台風被害も非常に心配されるところで、近年の異常気象は、農業の盛んな本市において、大変脅威であります。

世界レベルで、地球温暖化防止への取り組みが急務となっております。